

学校プロフィール

学校名(鈴鹿市立牧田小学校)

【平成31年 4月】

1. 目指す学校像について

項目	内容
(1) 目指す学校像	人とふれあい 共に学び ひびき合う子の育成
(2) ありたい姿(実現したい学校の状態)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一人ひとりの学力を保障する学校 ○ ちがいを認め、共に高め合う学校 ○ 生き生きと活動する子を育てる学校 ○ 地域と共に歩む学校 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>〈目指す子ども像〉</p> <ul style="list-style-type: none"> よく考え、進んで学ぶ子(知) 違いを認め、高め合う子(徳) 生き生きと活動する子(体) </div> <div style="width: 45%;"> <p>〈目指す教師像〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者・地域から信頼される教師 常に学び続ける教師 実践力・行動力のある教師 </div> </div>

2. 現状の認識について

(1) 「価値」を提供する相手方		
① 相手方の区分	②現在の要求・期待	
児童	・いじめや差別のない楽しい学校・思いや考えを聞いてくれる学校・わかる授業	
保護者	・楽しく学校に通える環境づくり・子どもの安全確保・勉強や運動ができる環境	
地域	・あいさつができる子・心身共に健全な子・安全安心の共有	
(2) パートナー		
①パートナーの区分	②パートナーからの要望・期待	③パートナーへの要望・期待
関係機関	・鈴鹿市教育基本目標(学校教育分野)の推進に向けた教育の実践	・積極的な支援・指導助言
校区幼稚園・保育園	・連携の強化, 緊密な情報交換 ・安全安心な学校	・基本的生活習慣の確立 ・連携の強化, 緊密な情報交換
PTA・地域	・あいさつのできる子 ・開かれた学校	・学習・安全安心ボランティアへの参加 ・学校行事への参加
進学先中学校	・基礎学力の定着 ・基本的生活習慣・学習規律の確立	・小中連携の強化 ・中1ギャップ・中1プロブレムの解消
(3) 組織の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭環境や生活状況が様々で、保護者の価値観が多様化している。 ・基本的生活習慣の定着が心配され、保護者との連携が必要である。 ・外国籍児童の在籍率が高く、日本語指導を必要とする児童が多い。 ・交通量が多く交通安全指導の充実や不審者から身を守る子どもの安全確保が必要である。 	

3. 目指す学校像実現のための重要な視点(方針)について

(1) 重点化に向けた視点	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの学習の実態に即した指導方法の工夫や改善を学年部会や校内研修で取り組み、授業研究を通して指導力を高める。また、各種研修会に積極的に参加する。 ・算数科と外国籍児童の日本語指導の充実に努め、全ての子どもの学力保障に取り組む。 ・隔月で「子ども理解会議」を行い、支援を必要とする子どもの情報共有を図る。また、講師の先生を招き事例研究を行い特別支援教育の研修を深める。 ・学校運営協議会や「牧田地区地域づくり協議会」, 「にこにこ牧田っ子見守り隊」を通じて地域との連携を推進する。
(2) 上記の背景・理由	<ul style="list-style-type: none"> ・外国籍児童の在籍率が高く、また支援を必要とする児童も多い。学習指導や生活指導・日本語指導を充実することが、児童一人ひとりの学力を保障することにつながる。 ・学校運営協議会や日々の教育活動で保護者や地域の人々となつなっていくことが、子どもたちのよりよい成長や、学校の教育力の向上につながる。